

平成22年度全国高等学校総合体育大会【美ら島沖縄総体2010】
(第78回 日本高等学校選手権水泳競技大会)

水球競技速報用紙

平成22年8月17日(第1日)

会場: プール

ゲームNo

5

帽子の色	白	2回戦	青	帽子の色
富山県立富山北部高等学校		2 - 3	福岡県立福岡工業高等学校	
		1 - 1		
		1 - 2		
6		2 - 2	8	
		EX.		
		-		
天候: 晴れ		P.T.	審判1: 大島 明	
		-	審判2: 折笠 敬一	

戦評

ともにカウンター攻撃から組織的な攻撃を繰り出すスピードのあるチーム同士の対戦となった。

1P 開始早々、両チームともカウンター攻撃を繰り出すが、両チームのDFが相手攻撃のリズムをずらしたり、スペースをつぶしたりなかなか得点を許さない。試合が動いたのは5:32、福岡工業の攻撃に富山北部のDFが押し込まれたとき、トップから青 深川が落ち着いてループシュートを決め、福岡工業が先行した。これに対し、富山北部は 武田を中心にカウンター攻撃を繰り出す。2:08、白 田中がミドルからDFの手に当てながらもゴールにねじ込み同点。つづいて1:33には白 堀が福岡DFの隙を突き、ドリブルで持ち込み右サイドにシュートを決め2 - 1と逆点する。これに対し福岡工業は、0:58、青 深川、0:11には青 浦山がパワープレーで得点し、2 - 3と福岡工業のリードで終了した。

2P 富山北部 武田がチャンスをつくっていく。6:05には自らフローターシュートを決め同点。両チームともカウンター攻撃からセットへと流れるような攻撃が素晴らしい。富山北部は白 武田が退水を次々と誘発し、パワープレーを仕掛けるが得点できない。福岡工業は、1:23、青 から青 ヘバスが渡り、 深川が得点。3 - 4と1点差を守り、前半戦を終了した。

3P 富山・福岡とも相手攻撃を必死のDFで防いでいく。白 のスピードが落ちたとき、福岡はカウンターで持ち込み、3:18、青 伊藤が右サイドからシュートを決め3 - 5と差を広げる。富山の強引なミドルシュートもGKが好セーブ。このチャンスに青 深川が長いドリブルからGKをかわしてシュートを決め、3 - 6とリードを広げ、勢いに乗る福岡に体勢が決まったかに思われた。しかし、粘る富山北部はQ終了間際、パワープレーからルーズボールを白 田中が押し込んで2点差とし、最終Qへ望みをつないだ。

4P どちらが先に得点するか、緊迫の最終Qはニュートラルスローから再開。勝負は白 武田と、福岡工業は武田へのDFを徹底、強化している。富山北部は5:36、右サイドから 堀がカットイン、P.Tを獲得。このチャンスを白 武田が確実に決め、5 - 6と追い上げる。さらに白 宮本が退水を誘発する。福岡工業は白 武田はマンツーマンで守り、武田には絶対シュートを打たせない守り。しかしこのチャンスは白 宮本が左サイドからシュートを決め同点に追いついた。勝利への執念に燃える福岡工業は、DFから波状攻撃を仕掛け、3:06、青 三島が左サイドからミドルシュート、2:31には青 浦山がフローターシュートを決め、富山北部を6 - 8と突き放した。必死の追い上げを見せる富山北部に対し、福岡工業はゲームをコントロールにかかる。最後の攻撃もタイムアウトをとる徹底ぶりで初戦を勝利した。

ともにレベルの高いチーム同士で、水球の激しさ、面白さが伝わる好ゲームであった。

記録者

渡辺 俊明